

**横浜市立大学附属市民総合医療センター
滅菌業務等委託 公募型プロポーザル特定結果について**

横浜市立大学附属市民総合医療センターでは、「横浜市立大学附属市民総合医療センター滅菌業務等委託」について、公募型プロポーザル方式により、受託候補者を特定しました。

令和4年9月20日の「提案書」締切までに2者から応募があり、令和4年9月29日に第一回「横浜市立大学附属市民総合医療センター滅菌業務等委託に関するプロポーザル評価委員会（以下、評価委員会という。）」を開催しました。また、令和4年10月5日に第二回評価委員会を開催し、2者によるプレゼンテーションを実施しました。

評価委員会での評価結果を受け、横浜市立大学附属市民総合医療センター第一契約審査会（令和4年10月13日開催）にて、受託候補者として特定しました。

1 契約の相手方

日本ステリ株式会社

2 評価結果

提案者	評価点数
日本ステリ株式会社	845 / 1,200
A社	650 / 1,200

※評価委員は6名出席（1名欠席）

※評価委員会事務局：管理部 経営企画課 物品管理担当

- ・第一回評価委員会（令和4年9月29日開催）
- ・第二回評価委員会（令和4年10月5日開催）

3 評価基準

評価項目	評価配点	評価のポイント
滅菌業務等運営の基本的考え方	35	<ul style="list-style-type: none">・提案内容は、仕様書の内容と合致しているか。・回収・洗浄・滅菌・搬送までのサイクル（平常時及び緊急時）について、当院の現状を踏まえた効率的かつ具体的な運用となっているか。より使いやすい管理システムが提案されているか。
医療器材等管理・供給業務	15	<ul style="list-style-type: none">・医療器材の貸出、搬送・回収・消毒・清掃・点検・修理（一次修理、外部依頼）・報告を理解し、適切に行えるか。・倉庫管理、在庫管理について適正在庫量や有効活用の提案があるか。・医療器材の紛失・破損防止及び修理・買換についての提案があるか。

滅菌業務	100	<ul style="list-style-type: none"> ・手術室等の滅菌器材の管理・供給業務を、当院の運営実態（院外滅菌業等）に合わせて効率的に行うことができるか。 ・予定手術はもちろんのこと、緊急手術に対しても、術式別の滅菌器材の緊急対応を適切に行うことができるか。 ・医師、看護師等と連携して、基本セットのマスターの見直し・集約の提案を行えるか。 ・看護師の業務軽減策（器械カウント等）が具体的に提案されているか。 ・洗浄前の器材の分解及び洗浄後の組立を確実にできる体制となっているか。 ・鋼製小物、各種内視鏡、スリッパ、回路洗浄（呼吸器・超音波吸入器）等の洗浄・消毒を効率的に行えるか。 ・緊急手術など優先順位が高いものを確実に洗浄できる提案となっているか。 ・限られた滅菌機器類を有効活用し、滅菌業務を効率的に運用する提案となっているか。 ・滅菌機器類の清掃及び管理を適切に行えるか。
自由提案	15	<ul style="list-style-type: none"> ・自由提案は実現可能で、当院に有益なものであるか。（器械展開業務等）
その他（他院での業務実績、人員体制、提案金額）	35	<ul style="list-style-type: none"> ・当院の病床数、手術件数を把握し、履行可能な知識や実績を備えているか。 ・本業務の遂行に必要な要員の配置ができているか。 ・管理・バックアップ体制及びインシデント対策等の研修体制は適切か。

※配点は評価委員1名あたり200点：200点×6名＝1,200点（満点）